

イベントいっぱい 森の京都博

「森」をテーマとした地域の魅力を発信するプロジェクト「森の京都博」。市内でも多彩なイベントが開催されます！

あやべ山家観光やな漁

日時：9月1日(木)～30日(金)
午前10時～午後3時
場所：由良川河畔(下原町)
内容：期間中はアユの塩焼きや鮎弁当、鮎味噌汁、飲み物などの販売を行います。



鮎まつり&ふれあいコンサート

日時：9月11日(日)午前11時～午後3時

問い合わせ：
山家地区自治会連合会
☎(46)0345
やな漁期間中は専用電話
☎080(5704)1484



京都丹州もくもくフェスタ

日時：9月24日(土)午前10時～午後4時
場所：京都丹州木材市場(小畑町)
内容：丸太切りや切り株投げ競争、重機を使った巨大UFOキャッチャー、木工体験、アウトドアスポーツ体験などが楽しめます。食品ブースではジビエ料理の出店もあります。

問い合わせ：
京都丹州もくもくフェスタ実行委員会 ☎050(3736)9506

2016里山サイクリングin綾部

日時：9月22日(木・祝)午前9時開始
場所：二王公園(睦寄町)発着
内容：奥深い水源の里を巡る水源の里周遊コース(約60km)とゆったりと気持ちよく走れる水源の里市志コース(約25km)に分かれ、里山の自然を楽しみながらサイクリング。

問い合わせ：
里山サイクリングin綾部実行委員会事務局
☎(42)4356



ほかにもいっぱい森の京都博イベント

板作り体験と杉板BBQ体験 ～NPO法人間伐材研究所に学ぶ板作り～

日時：9月4日(日) 午前10時～午後3時
場所：里山交流研修センター(鍛冶屋町)
申し込み：必要
参加費：1000円
問い合わせ：里山ねっと・あやべ ☎(47)0040

第22回あやべ「丹波くり」まつり

日時：10月1日(土) 午前10時～午後2時
場所：J A京都にのくに本店前駐車場(宮代町)
問い合わせ：農林課 ☎(42)4362

市功労者など表彰

市は8月1日、功労者等表彰式を開催。市の発展に大きく貢献した13人・10団体を表彰しました。



被表彰者を代表してあいさつする上原直人さん

功労者

上原直人(私市町)
34年間市職員として市政の推進に精励した後、第17代綾部市副市長に就任。今年3月まで8年にわたり市長の補佐役として尽力したほか、各行政委員会の委員長なども歴任し地方自治の進展に寄与。

四方悦郎(位田町)
15年にわたり市森林組合の代表理事組合長として、林業を取り巻く厳しい経営環境の中で森林の持つ多面的機能を発揮するため、計画的な森林整備に取り組むなど市の林業振興に寄与。

四方祥樹(東京都)
多額の寄付を行い、市の社会福祉発展に寄与。

篤志者

河北満(宇治市)▽齋宮熙



被表彰者の皆さん

分野別功績者

大島祐哉(東京都)▽堀川浩一(多田町)▽前田花穂(広小路二丁目)▽山下実花子(鍛冶屋町)▽吉崎香奈絵(梅迫町)▽綾部紫遊クラブ(広小路二丁目)▽綾部ファイトーズ(宮代町)▽間伐材研究所(里町)▽グンゼ綾部本社(青野町)▽水源の里市志(五泉町)▽水源の里老富(老富町)▽水源の里古屋(睦寄町)▽闘球ガールズ(上野町)▽ビバーチェ綾部(上延町)。

善聞語録



78

自然、可燃、不燃

仕事において、自ら燃える自然性の人、焚き付けるとヤル気になる可燃性の人、自ら進んでは燃えようとしていない不燃性の人、の3つのタイプがある。これは「稲盛語録」の一つで、京セラを創った稲代の起業者は経営破綻に陥ったJALの再建を請け負うや、不燃性ばかりであった幹部を可燃性、更には自然性に変える意識改革を断行しV字回復を成し遂げた。

綾部市で取り組んでいる水源の里条例が十年目を迎える。存続が危ぶまれる限界集落を何とか再生すべく立ち上がった当事者たちであるが、ここでも当初は自

燃派と不燃派が混在したという。が、やがて不燃の人でも一歩踏み出す勇気を出し多くが自然の輪に加わった。絶対に村を消滅させまいとの熱い想いで行動に移したのである。

翻って最近の進学塾では、試験が始まるやまず時間内に解けるかどうかを見極め、叶いそうにない問題は端から諦めさせる指導をするという。限られた時間内で効率よく結果を出す指導法に一定の理解はするものの、これで社会に出て苦難に面した時に逃げることなく立ち向かう精神を涵養できるのか、懸念を禁じ得ない。

水源の里では自然の火を絶やすことなく、次の十年も自ら燃え続ける世代の育成が肝要。そんな想いで全国水源の里シンポジウムを10月26日、本市で開催する。発祥の地で今一度原点に戻り、新たな自然の火を点じるメッセージを確認し合える日にしたい。

山崎善也(綾部市長)



英語を楽しく学んだよ！

市教育委員会は7月26、27日、八津合町の上林小・中一貫校で市内の小学5・6年生を対象に、英語によるコミュニケーションの楽しさを感じてもらうことなどを目的として「イングリッシュキャンプ」を開催しました。56人の児童が米国やオーストラリアなど出身の英語指導講師とともに、ゲームや疑似体験を通して楽しみながら学習。初参加の児童は「分からない単語を詳しく教えてもらい、たくさんの英語が話せてよかった」と“英語漬け”の2日間を振り返りました。

川遊びに大興奮

十倉向町の上林清流の里公園で7月17日、口上林川まつり（同実行委員会主催）を開催。アユの塩焼きなど地元の特産品が出品された模擬店や太鼓・バンドの演奏、丸太早切り大会などが行われたほか、大人気の「魚つかみ大会」では、子どもから大人まで楽しそうにアユやウナギを追い掛けました。



壮 大な宇宙に魅了

里町の天文館は7月23日、市と京都産業大学との包括協定に基づく連携事業として、京都産業大学神山天文台の河北秀世台長による天文講座「神山天文台が迫る宇宙の不思議」を開催。河北台長は太陽系や彗星の成り立ちなどを分かりやすく講演しました。その後、流れ星と彗星の違いなど多くの質問にも丁寧に回答。参加者は感心した様子で話に聞き入りました。

1 本の丸太が見事なアート作品に

鍛冶屋町の里山ねっと・あやべは7月16日、「はじめてでもできる!?チェーンソーアート教室」を開催しました。さまざまな大会で入賞経験のある講師の伊東和哉さんは、ダイナミックかつ繊細にチェーンソーを操作しながら、制作手順やテクニックを分かりやすく説明。参加者は苦戦しながらも、1本の原木から見事なフクロウを作り上げました。



長期間の訓練をやり遂げた操法要員と分団長、機械部長、指導に当たった消防職員



第24回京都府消防操法大会が7月31日、京丹波町の丹波自然運動公園で開催され、中筋分団（大槻敏彦分団長）が綾部市代表として出場。「小型ポンプ操法の部」で訓練の集大成を披露しました。

精一杯やりきった！
中筋分団 府消防操法大会に出場



気持ちを一つに

火点に向かって全力で



吸管を迅速にさばく



火点へ放水。この瞬間のために全員が力を合わせた



猛暑の中、多くの仲間が会場に駆け付け応援

競技は火災を想定した消火活動の操作を行うもので、動作の確実性や放水で標的を倒すまでの速さを競います。大会に向けて選ばれた操法要員は、2月からトレーニング、5月から操法訓練を開始、6月以降は週3回の訓練を行いました。最終的に選ばれた▽指揮者・大槻亘▽1番員・吉川聖崇▽2番員・栗野健志▽3番員・伊東敢▽補助員・大槻泰行の5人（敬称略）が出場。応援し支えていただいた皆さんへの感謝の思いを胸に本番に臨みました。上位入賞はなりませんでしたが、訓練成果を存分に発揮。大槻分団長は「全員が一丸となり多くの方々に応援いただく中で、本番は最高の操法をやりきってくれた」と目を潤ませました。

感謝の思いを胸に



仲間のサポートを受けて訓練

壮行会で市長が激励